

# 最上クロスロード

国道13号 泉田道路通信

第10号 令和4年9月 発行

## ◆最上クロスロードについて◆

新庄市は、南北に国道13号と奥羽本線が縦断し、東西に横断する国道47号と陸羽東線、陸羽西線が交差することから、「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝として栄えてきました。現在、「新たなクロスロード」として国道13号泉田道路、新庄金山道路と国道47号新庄古口道路、高屋道路を整備をすすめていることから「最上クロスロード」と題し、事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先>国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設監督官室  
〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2 (新庄国道維持出張所内)  
TEL: 0233 (22) 1731、FAX: 0233 (22) 1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syuchu/shiniji/index.html>

## 東北初!3Dプリンター施工 ~現場見学会~

9月1日(木)萩野西地区改良舗装工事 受注者の(株)新庄砕石工業所 主催で「3Dプリンター」の見学会が行われました。当日は、工事関係者や新庄神室産業高校の学生など約60名が参加し、3Dプリンターの実演に注目していました。(株)新庄砕石工業所の柿崎取締役管理部長は、「3Dプリンターを導入することで、建設業界の課題を克服していきたい。」と建設業会の今後について話していました。



### 建設業界の課題と現状

- ・他産業を上回る人手不足
- ・女性や若手の人材活用が頭打ち
- ・ICT(※)活用の進捗も足踏み
- ・熟練の職人に変わる技術力のカバー

※ICTとは、情報通信技術のことで、デジタル化された情報を利用することを指します。ドローンによる測量もICTに該当します。

### 3Dプリンターのメリット

- ・型枠作業がないため必要最低限の資材で造形が可能(コストの削減)
- ・熟練工による作業がカバーできる(人材不足解消)
- ・工場で造形できることにより、天候に左右されない作業が可能(工期短縮)



働き方改革により快適な労働環境作りができ、生産性の向上に繋がる

### 造形後の集水桝です！



こちらは、見学会の前日に造形されたものです。造形完了まで約10時間、その後は2日間養生し、現場へ設置ができるようになるとのことでした。見学時には触ることが出来るくらい硬化していましたが、まだほんのり温かく、硬化途中のようでした。

### 3Dプリンター実演の様子 萩野西地区改良舗装工事の盛土区間における排水路のシールコンクリート



特注のセメントを機械で練り、**青いホース**の部分にセメントが流れていきます。造形物は、セメントの硬さや形成の速度を変えることで硬化時間を調整し、高さのあるものも施工可能になります。

3Dプリンターの普及にはまだまだ課題が伴いますが、今回の見学会で新技術への期待が高まった方も多いのではないのでしょうか。建設業界でこれからどのように活用されていくか、注目していきたいですね。😊